

生きものマップ作成について

1. 目的

平成 26 年は写真を使って集落ごとに生きものの現状を把握しました（24 種）。今年度は、具体的な生物保全の取組を推進するため、測地的な生きもの分布情報を把握する（6 種）ことを目的に「生きものマップ」を作成します。

2. 手順

- 集落の地図と生きものシール（6 種）を配布します。
- 6 種の生きものの合いる場所にシールを貼ってください。
- 生きものの見分け方は以下および別紙を参考にしてください。

3. 対象の生きもの

3.1. 農地の生きもの

3.1.1. ドジョウ

水路や田の泥の中にすんでおり、水路の健全性を指標します。

■見分けのポイント

細長い体形と口ヒゲが特徴です。

3.1.2. メダカ

水路やため池など流れの緩やかなところにおり、水路やため池の健全性を指標します。

■見分けのポイント

カダヤシ（外来種）や魚の稚魚と間違えることがあります。

3.1.3. ヘビ（シマヘビ）

カエル類などを捕食し生態系の上位に位置するため、農地の生物の豊かさを指標します。

■見分けのポイント

縞模様のヘビで農地では一番よく見かけます。全体が黒色の黒化個体もみられます。

3.2. 川の生きもの

3.2.1. ゲンジボタル

幼虫は川の流れのあるところでカワニナを食べて育ち、川の健全性を指標します。

■見分けのポイント

6月に成虫が発光するので簡単に見つけられます。

3.3. 山の生きもの

3.3.1. カブトムシ

樹液の出るナラ類、幼虫の生息する朽木が必要で、里山の健全性を指標します。

■見分けのポイント

オスの角が特徴です。

3.3.2. ササユリ（市花）

手入れがされた明るい山林に咲く花で、里山の健全性を指標します。

■見分けのポイント

笹のような葉と夏に咲く白い花が特徴です。道路法面にみられるタカサゴユリとは別種です。

生きものマップの作成方法

下の生き物を見かけたら、見かけた場所に
生き物シールを貼ってください！



メダカ



ゲンジボタル



ドジョウ



ササユリ



カブトムシ



シマヘビ



間違えやすい仲間がいます

ササユリ



葉が広い
(笹の葉のよう)

花期は6-7月。



林淵や林内の暗めの場所に多い。

タカサゴユリ



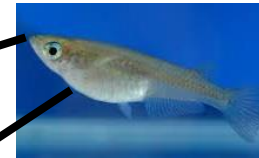
葉は細い
が茎は太い

花期は7-9月。



明るい場所に生えている

口が上向きにつく



白っぽい

メダカ

オイカワやウグイなど、コイの仲間の稚魚にメダカによく似たものがあります。



オイカワ



シマヘビ



アオダイショウ

シマヘビは真っ黒の場合もあります。アオダイショウは青～緑っぽい色が特徴です。